

長夜洞通信



第23号

2024年1月1日

真宗大谷派

海上山 安養寺

〒448-0831

愛知県刈谷市熊野町6-25

☎0566-21-1644

<http://annnYOUJI.jp>

人生一生
酒一升
あるかと思えば
もう空か

へもうおしまい？」

年末年始は酒飲みにとって、格好の季節です。忘年会だの、めでたい日だの、思いつく限りの言い訳を並べてはお酒を飲んでいきます。

初めはペースを守ってゆっくり飲もうと思っても、だんだん楽しくなってきた、気が付けばもう底が見えていることがしょっちゅうです。まさにこの法語の通り、人生もう底が見えてきているのかもしれない。

蓮如上人は「いつのまにかは年老のつもるらんとおぼえず、しらざりき。」「ただいたずらにあかし、いたずらにくらして、老のしらがとなり

はてぬる身のありさまこそかなしけれ」（『御文』4帖目4通）（【意訳】いつのまにか知らないうちに年をとってきた。ただいたずらに生きてきて、老の白髪となってしまった私の身こそ悲しいものであります。）とあつという間に感じる人生を嘆いておられます。

私自身も気が付いたらもうこの年かと、ふと感じることがあります。しかし、決して「いたずらに」生きてきた気はありません。その場で最善の選択をして、一生懸命にやってきたつもりです。それでも、人生全体を振り返るとやはり「いたずらに」としか言い様のないものがあります。今のままでは、何か死にきれないようなものがあるのです。

昨年は、私に多大な影響を与えてくれた方たちが相次いで亡くなりました。私も例外なく命を終えていく者です。この人生の中で何がしたいのだろうか。こういうモヤモヤをまたお酒を飲みながら考えています。

新年あけましておめでとうございます。
今回の長夜洞通信は今年度の行事等を掲載しております。よって喪中のご連絡を頂いた方にも発送しております。何卒ご理解のほどよろしくお願い致します。
どうか有縁の方々で一読していただければ幸いです。
今年もよろしくお願い申し上げます。



令和6年(2024年)年忌表

法要	亡くなった年	23回忌	平成14年(2002)
祥月法要	毎年の御命日	27回忌	平成10年(1998)
1周忌	令和5年(2023)	33回忌	平成4年(1992)
3回忌	令和4年(2022)	37回忌	昭和63年(1988)
7回忌	平成30年(2018)	43回忌	昭和57年(1982)
13回忌	平成24年(2012)	47回忌	昭和53年(1978)
17回忌	平成20年(2008)	50回忌	昭和50年(1975)



誕生日に生まれた尊さを祝う風潮の中で、生まれたものはどんなものも命を終えねばならないということが見えにくくなっています。法事を務めて命の深さを感じる大切な時間をいただきましょう。お内仏(仏壇)の繰り出し法名や過去帳を見てお調べください。お寺でお調べすることもできます。法要の仕方、会場等、ご相談があればお気軽にお問合せください。

「七十代になって感じること」

釋尼耀容(前坊守)

六十代と七十代とは体力面や色々なことが違っていると聞いていましたが、最近はその違いをひしひしと感じています。知人や友達との会話も「元氣？」からはじまります

体が元氣でないと気力も湧いていません。氣をつけることも増えてきましたが、元氣で暮らせたらしいです。

病氣で命を失うのは誰でもですが、戦争で命を失うのは避けられます。

一日でも早く戦争が終わってほしいと願っています。



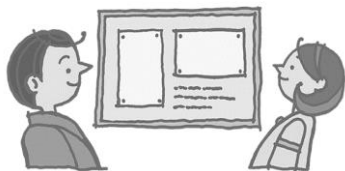
〈掲示板のことばを募集します〉

安養寺には参道の入り口に伝道掲示板があり、法語や心に残った言葉を書いて掲示しています。（お寺にお参りされた方、是非読んでいただください！）掲示板の言葉は約一か月間で更新されます。また、この掲示板の言葉は、安養寺のホームページのトップ画面にも掲載されていて、同じ頻度で更新しています。

募集要項は

- ・心に残った言葉
- ・その言葉を言った（書いた）人の名前
- ・いつどんな時にその言葉が響いたか

紙に書いてお寺に持ってきていただいても、メールで送っていただいてもかまいません。みなさんの人生の中で、今でも忘れず響く言葉はありますか。歌の歌詞でも、他のお寺の掲示板で読んだ言葉でも、お気軽に教えてください。（教えていただいた言葉が必ず掲示されるわけではありません。ご了承ください。）



〈安養寺では仏教に学ぶ集いを開いています〉

普段、悩んでいることや苦しいことはありませんか。お寺を通じて新しい友達に出会いませんか。安養寺では、毎月、昼に二回、夜に一回、学習会を開いています。いつでも、どなたでもみなさんをお待ちしています。ゆっくり、あせらず仏法に学びましょう。

〈同朋会（どうぼうかい）〉年会費一、五〇〇円
午後二時～四時頃まで

一月十七日（水）修正会と新年会

・住職担当

『一念多念文意』を読む

二月十九日（月）

三月十八日（月）

・前住職担当

『和讃』を読む

一月二十九日（月）

二月二十九日（木）

三月二十九日（金）

〈仏教に学ぶ会〉

年会費 一、〇〇〇円

午後七時～八時半頃まで

『歎異抄』を読む

一月十日（水）二月十二日（月）

三月八日（金）四月十日（水）

五月九日（木）六月十日（月）

以降の開催日はホームページでご確認下さい。

どなたでも、いつからでもご参加ください。

（安養寺と日頃からお付き合いが無い方でもご参加できます。是非お越しください）



〈坊守からの一言〉

近年、お寺で活躍いただく女性が増えてきました。とてもうれしく感じています。仏法は性別も、年齢も、経歴も問わず恵みを与えてくださる教えです。私自身もお寺に来るまで仏教について考えたことはほとんどありません。そんな私が教えを聞いたりするなんて、人生なにが起るかわからない、まさに思ってもみなかった姿です。

安養寺で開いている学習会に私もできる限り参加しています。もし、少しでも興味があれば是非一緒に学んでみませんか。新しい発見があるかもしれません。

（釋尼尊樹）

〈掲示板のことば〉

一生を終えてのこるのは、

われわれが集めたものではなくて、

われわれが与えたものである。

『続氷点』 二浦綾子さん

〈安養寺二〇二四年度行事予定〉

【春の彼岸のおつとめ】

三月二十二日（金）午前十時から

【はなまつり】

三月二十八日（木）午前十時から

お釈迦様の誕生日をお祝いします。お楽しみ会があります。

【春季祠堂法要】

四月七日（日）午前十時から

【納骨堂法要】

五月二十六日（日）午前十時から

午後一時から

安養寺納骨堂の法要です。納骨されているすべての方へご案内をします。

【真宗講座】

七月上旬

刈谷市・安城市の真宗大谷派（十二カ寺）のお寺主催の行事です。今年は会場が安養寺になります。

【初盂蘭盆会】

八月十三日（火） 時間は決まり次第

八月十四日（水） ご連絡します

初盆にあたる方の法要です。

【お盆のおつとめ】

八月十五日（木） 午前十時から

【秋の彼岸のおつとめ】

九月二十三日（月） 午前十時から

【安養寺日帰りバス旅行】

九月二十七日（金）

行先は考え中です。もし行きたいところがあれば教えてください。

【秋季祠堂法要】

九月二十九日（日） 午前十時から

【安養寺報恩講】

十月二十六日（土） 両日 午前十時から

十月二十七日（日） 午後一時から

親鸞聖人のご命日のおまいりです。

無関係な人ではありません。どなたでもおまいりください。

「世の中安穩なれ 仏法ひろまれ」

釋 長時（前住職）

親鸞聖人当時（十二・十三世紀）の時代社会は「ひごうだる世」といわれ、戦、自然災害、疫病が絶えない、まさに「五濁の世、無仏の時」でした。その只中で親鸞は「世の中安穩なれ、仏法ひろまれ」「この世のちの世までのことを、いのりあわせたもうべく」と、念仏の道を歩まれました。

「新しい戦前」と呼ばれる、現今の日本、世界の状況において、争いはどうして止まないのか！という人類の課題の前、私は立ち竦んでしまいます。

自分のやっていることは正しいということを確認するために教えを利用していないか。そのことを否定し、間違いを犯し、愚かな私の在り方を悲しんでくれる世界を信頼し、そのはたらきに領き、身近な他の人とともに歩まんとする態度決定が求められています。

